

地域再生計画

1. 地域再生計画の名称

萩のモノとワザを活用した「萩の木になるモノづくりプロジェクト」による
雇用創出プラン

2. 地域再生計画の作成主体の名称

萩市

3. 地域再生計画の区域

萩市の全域

4. 地域再生計画の目標

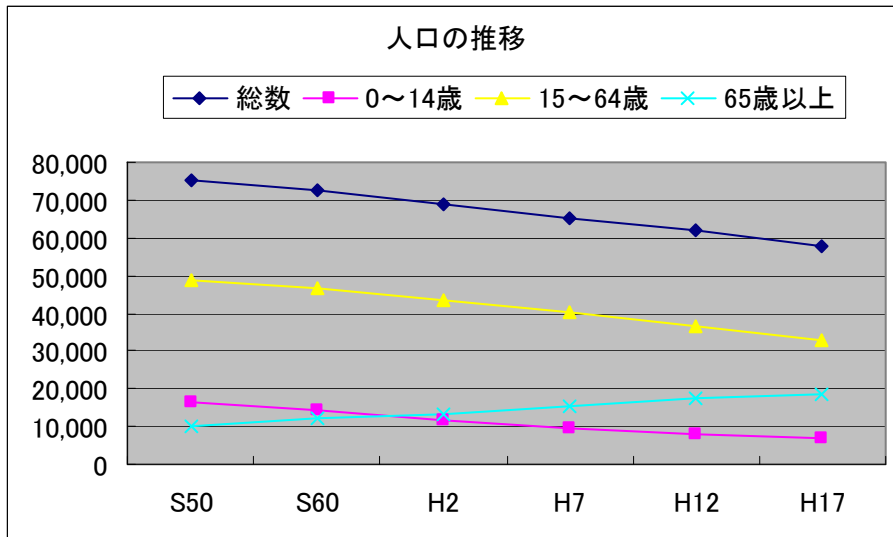
萩市（以下「本市」という。）は、本州最西端の山口県の北部に位置し、幕末から明治にかけて、近代日本の礎を築いた多くの人材を輩出した維新胎動の地である萩市、阿武川の豊かな山水に恵まれた川上村、島根県に隣接し、北長門海岸国定公園の一部を含みリアス式海岸を有する田万川町、緑に囲まれた美しい農山村景観を有するむつみ村、名勝及び天然記念物「須佐湾」や「ホルンフェルス」など多くの景勝地に恵まれた須佐町、山口県の中心に位置し宿場町として発展し、農業集落を有する旭村及び山間地の起伏に飛んだ地形を有する福栄村の1市2町4村が平成17年3月6日に合併し誕生した。現在は、萩・川上・田万川・むつみ・須佐・旭・福栄の7つの地域により構成され、多様な地形と県の一割にあたり、東京23区の面積より大きい698.79km²という広大な面積を有している。

本市の人口は、昭和30年のピーク時は約10万人であったが、それ以降は減少傾向をたどり、平成17年の国勢調査では57,990人である。昭和50年代には一時的に減少が穏やかになったものの、依然として減少傾向が続いている。平成23年6月現在で約5万4千人であり、総人口の31.6%が高齢者（平成22年国勢調査速報値）となっている。

■人口の推移

人口	S50	S60	H2	H7	H12	H17
総数	75,302	72,748	68,999	65,293	61,745	57,990
0～14歳	16,450	14,410	11,918	9,598	7,947	6,735
15～64歳	48,939	46,410	43,657	40,153	36,535	32,948
65歳以上	9,906	11,928	13,410	15,542	17,263	18,307

（資料：国勢調査）



(資料：国勢調査)

また、平成23年3月における萩市内の新規高校卒業生479人中、萩市内に就職した者は59人(12.3%)となっており、多くの若者が市外へ流出している状況である。

このようななか、ハローワーク萩管内の主な産業は、日本海の海洋資源を生かした漁業、水産加工業、中国山地の肥沃な土の恵みを利用した農業、萩焼を中心とした窯業及び観光関連のサービス業である。一般有効求人倍率が0.7倍台で推移するなど、非常に厳しい雇用環境にあり、前述のとおり、昭和50年から平成17年までの30年間の人口減少率が約23%となっているなか、今後どのようにして人口減少に歯止めをかけるか、また、これら雇用環境の改善に向けた雇用機会の創出が喫緊の課題となっている。

また、雇用機会の創出を図る上では、海も山も備え持ち、日本海から獲れる魚介類や広大な農業用地から収穫できる野菜や果物等、豊富な資源を活かし、地域産業の振興を目指していかなければならないと考える。

本計画において、様々な萩の産品を可能な限り活用し、主産業である農業、水産業を機軸とした付加価値が高く他にない商品等の開発を通じたブランド化を、各種団体等と連携して推進することとし、必要な販路開拓や特産品となる商品の開発等に関わる技術者等の人材を育成し、「モノづくり産業」や観光関連産業分野と組み合わせた新たな雇用機会の創出を図るとともに、地域の更なる振興を推進する。

また併せて、萩の食のブランド化や商品開発等の取組みは、萩の各産業の総生産を増加させるほどの波及効果を生み出すまでに至ってはいないことから、農林水産分野、モノづくり分野、観光分野において一体的な取組みをモノづくりプロジェクトとして、様々な事業を展開、推進することとし、地域産業を支える事業者のために事業拡大や新規事業化を支援することで、雇用機会の拡大・創出を実現し、活力・魅力ある地域づくりを目指していく。

具体的には、地域雇用創造推進事業(パッケージ事業)を活用する事業の実施により、平成25年度までに143名の雇用創出を目標とする。

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

様々な萩の産品を活用し、主産業である農業や水産業を機軸とした付加価値が高く、他にない商品等の開発を通じたブランド化を各種団体等と連携して推進する。このため、必要な販路開拓や、特産品となる商品の開発等に関わる技術者等の人材を育成し、モノづくり産業や観光関連産業分野と組み合わせた新たな雇用機会の創出を図るとともに、地域の更なる振興に努める。

5-2 法第5章の特別措置を適用して行う事業

該当なし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

B0902 地域雇用創造推進事業（パッケージ事業）

（1）実施主体

萩の木になるモノづくり協議会

（2）構成団体

萩市、萩商工会議所、萩阿武商工会、萩・阿西商工会、萩市観光協会、萩温泉旅館協同組合、山口はぎ漁業協同組合はぎ統括支店、ふるさと萩食品協同組合、JAあぶらんど萩、（社）萩物産協会

（3）実施を希望する期間

認定の日～平成25年度

（4）行おうとする主な事業

① 雇用拡大メニュー（事業主を対象）

ア 萩ブランド戦略セミナー

他地域の方に萩市の地域資源を個別に商品化し売り出すのではなく、こだわりのある商品づくりと一体的な情報発信ができる人材が求められている。食材や郷土料理に加え、萩焼等の伝統工芸品など、萩市には全国に誇れる地域の宝があることから、「食」と関連付けた新たな商品や観光商品づくりを学ぶ。

イ PR・マーケティング研修

PR・マーケティングが不得手な事業者が多いことから、消費者に対しての効果的・戦略的なPR方法や、新商品開発、販路拡大等に関するマーケティングの知識を基礎から学ぶことにより、企業のスキルアップを図る。

② 人材育成メニュー（地域求職者等を対象）

ア 「油」知識と技術セミナー

萩市の新商品として検討している、椿をはじめ今後搾油が可能な「食用油」全般のほか、夏みかんをはじめかんきつ類から搾油できる「精油」について機能性や効能などの知識を学ぶ。また、地元精密機械メーカーによる指導をお願いし、搾油までの全体の技術取得を目指す。

イ HP・ブログ達人セミナー

萩市のように大都市圏から離れた地域にとって、飛躍的に利用者が伸びているパソコンのツールであるHPやブログ並びにツイッターなどの取り組みは必須となっている。パソコン・インターネットを利用し、その効果的な活用ができるよう、HPの作成、デザイン、通信販売技法、顧客管理等まで操作できることを目的としたパソコン技能について学ぶ。

ウ 萩の食の商品開発力育成セミナー

他地域との差別化により独自性を引き立て、継続して小売店や消費者から求められる地域産品を活用した商品を生み出すための、商品開発手法を学ぶ。また、併せて、デザインにおいても、製品コンセプト、技術、品質、サービス等の要素を、わかりやすく視覚的に訴えるための手段として、近年その重要性が高まり、ブランド確立のために必要な要素となってきたことから、萩市のブランド商品を、オリジナリティの高い商品とするために欠かせない、デザインについて学ぶ。

エ 産業連携推進セミナー

第一、二、三次産業の各分野に精通した講師を招聘し、求職者に対し生産から販売までの一連の技術を習得させ、各分野における雇用を創出する。

オ 販売資格取得及び接客セミナー

「食」は来訪先の地域特性を強く感じさせる重要な要素であるほか、観光客がその地に期待するものとして大きな比重をもつと思われる。そこで観光客がどのような「食」を求めているか、また「観光」と結びつけることにより、観光客の満足度を高め、リピーターを増加させるために接客技法を含めた手法を学びます。また、併せて、販売士資格取得のノウハウを持った講師を招き求職者に対し営業で必要となる販売士資格の取得を図りつつ、市内の小売店で直接消費者に対し萩産品を販売するための知識や技術を持った人材を育成し関連分野における雇用を創出する。

さらに、接客業を行う事業主や従業員に対し、ブランド化している商品の質や値段に対して、詳細かつ丁寧に説明できるようアピール方法、販売方法及びリピーターになっていただくための接客サービス・マナーを学ぶ。

③ 就職促進メニュー

ア 地元就職促進事業

新規学卒者等若年者の地域外への流出に歯止めをかけるためには、地元に残って働きたいという魅力ある企業等を育成し、雇用の創出を図るとともに、これまで以上に情報提供や相談体制の構築を行う必要があり、定住HPによる求人情報等を活用した情報提供を行うための相談会等を実施する。

イ U J I ターン促進事業

求職者やU J I ターン希望者の掘り起こしや、雇用・住居希望者への雇用・住居の相談や紹介など、これまで以上にきめ細やかな情報提供・相談、受入れ態勢、定住後のフォローアップが課題であり、U J I ターンフェア開催や農林水産業を中心とした体験型ツアーの実施、また、空き家・空店舗情報の収集及びデータ整理とHPへの掲載を行って、萩の魅力ある産業を実際に体験し、雇用の創出につなげていく。

5-3-2 その他の関連事業

地域再生法による特別の措置を活用するほか、当該措置と下記事業の連携のもと、総合的かつ一体的に行う。

(1) 萩の地魚もったいないプロジェクト

① 内容

低利用かつ未利用となっている魚種を活用した新商品開発を行い、新しいカテゴリー（オイル漬けや地魚の串及び生ハム）としての商品を開発。また、素材となる原魚の特性検証・加工品群の開発プランニング・加工品群のマーケット検証・加工品群の生産・試作品の評価（飲食店料理長へ試食評価を依頼）・販路開拓・広告宣伝の実施

② 実施主体 ふるさと萩食品協同組合

(2) 小規模事業者新事業全国展開支援事業

① 内容

地域の小規模事業者による全国規模の市場に向けた事業展開を促進するために、商工会議所等が事業者と協力して特産品開発や観光資源開発、販路開拓等を行う。

② 実施主体 萩商工会議所

(3) 萩の魚ブランド化推進事業

① 内容

本市の水産物に付加価値をつけ、価格向上等を図り、ブランド化を推進する。水産物については、萩の魚ブランド化推進協議会を主体に、萩の魚のブランド化を推進する。併せて、関係団体による各種イベントの開催やブランド魚である瀬付きあじ、あまだい、けんさきいか、真ふぐのポスター、幟等を作成・配布し、PRする。

② 実施主体 萩の魚ブランド化推進協議会

(4) 起業化支援事業

① 内容

市内での起業を促し、産業の振興、雇用の促進を図るため、独創性及び発展性をもって起業する方に事業所開設等に必要な資金を（上限50万円）補助する。

② 実施主体 萩市

(5) 維新胎動の地「萩」演出事業

① 内容

萩市を訪れる観光客に対して、維新の志士などに扮して公開文化財施設内等での観光案内や藩政時代の町並みが残る観光地での写真撮影などに応じるスタッフを雇用し、明治維新胎動の地「萩」を演出する。

② 実施主体 萩市観光協会

(6) ふるさと萩回帰応援事業

① 内容

農林水産業担い手対策として、新規参入就農者対策や住宅対策を実施しているが、他地域からの受け入れには数的な限界もあることから、新規参入対策に併せ、市内に相続権をもつ農地や山林、漁船等を有する転出者や新規学卒者を農林水産業後継者として受け入れることが、農山漁村の持続的発展の観点から有益であることから、Uターン等により後継者として意欲を有する若者を官民一体となって緊急的に支援を行う。

② 実施主体 萩市

(7) 定住総合相談窓口開設事業

① 内容

城下町でゆっくりと暮らしたい、自然に囲まれて心豊かに暮らしたい等、「萩暮らしを希望される方を応援するため、定住総合相談窓口を設置し、定住支援ホームページ「来てみいね、住んでみいね！萩ふるさとターン応援団」を開設するとともに、「空き家情報バンク」を新たに設置し、住まいを中心とした生活情報を提供する。

② 実施主体 萩市

6 計画期間

認定の日から平成26年3月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

萩の木になるモノづくり協議会において、パッケージ事業を活用した求職者や事業所に対して、毎年度、アンケート調査を実施し、雇用状況についての検証を行い、取り組みに対する評価を行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし